

※WEB出願対象外※

H O N O R S 特 待 生 入 学 試 験

(音楽分野)

1. 趣旨

音楽の分野で秀でた活動実績を有し、入学後本学での活躍が期待できる者を特待生として採用します。

2. 募集人員

学 部	学 科	募集 (コース・課程)	募集人員
国際文化	音 楽	器楽コース ピアノ課程 器楽コース ピアノ演奏家課程 器楽コース 管弦打楽器演奏家課程 声楽コース 作曲コース	若干名

※スポーツ分野・検定資格分野については、別途定めています。

※「学校推薦型選抜B」を第2志望として希望した場合、HONORS特待生入学試験で不合格となっても成績適当と認められた者は、「学校推薦型選抜B」での入学を許可します。

3. 出願資格 ※受験を希望する場合は、事前に入試・広報課までお問い合わせください。

次の(1)～(2)の条件を満たす者。

- (1) 令和5年3月に高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)を卒業見込みの者で、原則として、全体の評定平均値が3.0以上あり、出身高等学校長によって人物、活動実績ともに優れていると推薦された者。なお、本学を専願する者に限ります。
- (2) 音楽の分野において、別表1に定める基準以上の実績をあげた者又はそれに準ずる実績をあげた者。

別表1

音 楽
国内外の主要な大会・コンクール等における上位の実績

4. HONORS特待生採用の減免内容

入学金全額及び4年間の授業料を以下のとおり免除します。(教育充実費・委託徴収費は除く。)

種 類	免 除 額
A	入学金全額及び4年間の授業料全額免除
B	入学金全額及び4年間の授業料半額免除
C	入学金全額及び4年間の授業料1/4免除

※減免内容の種類については、活動実績等を総合的に評価し、決定します。

※入学後の活動実績・学業成績及び学生生活等の審査によって、HONORS特待生としての資格を失う場合があります。

5. 試験日程

試験日	試験場	集合時間	試験科目・試験時間	
			口頭試問	実技試験
11月17日(木)	本学	13:00	13:30~	口頭試問終了後

※実技試験課題などの詳細は、実技試験課題一覧を参照。

※実技試験開始時間については、当日指示します。

6. 選考方法

選考方法	内容	時間	配点
書類審査(志望理由書, 推薦書, 調査書, 活動実績書)	全体の評定平均値, 出席状況, 学校内外での活動等	—	100点
口頭試問	学習意欲, 専門分野の基礎知識, 将来のビジョン等	20分	100点
実技試験	※詳細は実技試験課題一覧を参照	—	100点

※「学校推薦型選抜B」を第2志望として希望する場合の実技試験については、HONORS特待生入学試験実技試験課題曲のみの演奏とします。

7. 出願手続 (WEB出願対象外) (出願書類は、入試・広報課までお問い合わせください。)

(1) 出願について

- ① 出願は、高等学校を通じて行ってください。
- ② 出願は、本学所定の封筒に出願書類を一括同封して、提出してください。
- ③ 出願後の志望コース・課程及び実技試験曲目などの変更は一切認めません。また、出願書類に不足・不備などがある場合は受け付けません。ただし、出願後に住所変更などが生じた場合は直ちに連絡してください。

(2) 出願期間及び提出方法

出願期間(必着)	提出方法
11月1日(火)~11月9日(水)	<p>【郵送の場合】 「簡易書留」で郵送してください。締切間際の場合は必ず「簡易書留速達」としてください。</p> <p>【窓口持参の場合】 平日9:00~16:30まで、土曜日12:00までに持参してください。</p>

(3) 入学検定料 ※一度納入した入学検定料はお返しできません。

30,000円

「普通為替証書(ゆうちょ銀行又は郵便局で購入※指定受取人欄は記入しないこと)」で出願書類に同封してください。

(4) 出願書類

出 願 書 類	注 意 事 項
志願票・志望理由書	本学所定の用紙に、必要事項を記入してください。 また、『HONORS特待生入学試験において不合格となっても、成績適当と認められた者は「学校推薦型選抜B」の合格者として入学を許可する制度』を希望する者は、志願票の該当欄に○印を必ず記入してください。（※希望者のみ）
受 験 票	本学所定の用紙に、必要事項を記入してください。
写 真	縦4cm×横3cmの写真1枚。 出願3ヵ月以内に撮影した、正面・上半身・脱帽のもの。 裏面に氏名を記入後、志願票に貼付してください。
活 動 実 績 I	本学所定の用紙に、必要事項を記入してください。
活 動 実 績 II	本学所定の用紙に、活動実績Iに関する客観的資料を貼付又は指導者所見などを記載してください。
実 技 試 験 カ ー ド	本学所定の用紙を用い、記入してください。
楽 譜（該当者のみ）	実技試験課題一覧(P94)を確認し、提出してください。
練習室使用申込書 （希望者のみ）	練習室の使用希望者は、本学所定の用紙を用い、記入してください。
推 薦 書	本学所定の用紙に高等学校が記入し、厳封したもの。
調 査 書	文部科学省規定の様式により、出身高等学校長が証明し、厳封したもの。 （出願3ヵ月以内に発行したもの）
宛 名 シ ー ル	宛名シール（3票）に郵便番号、住所、志願者氏名を記入してください。
レターパックライト （結果通知送付用）	1枚購入し、真ん中から半分に折って書類と一緒に送付してください。 宛名欄は記入不要です。

(5) 受験票

- ① 出願手続が完了したら受験票を郵送します。
- ② 出願締切後数日経っても受験票が届かない場合は、入試・広報課に電話で問い合わせてください。

8. 合格発表・入学手続期間

合格発表	入学手続期間	
12月1日(木)	12月1日(木) ↓ 12月9日(金)	【結果通知】 ※結果通知書と、合格者には入学手続に必要な書類を郵送します。 ※出身高等学校長宛に合否を郵便で通知します。 なお、合否に関する電話・郵便などの問い合わせには一切応じません。 【入学手続】 ※入学手続時納入金の納入及び入学手続書類を提出してください。

HONORS特待生入学試験において不合格となっても、成績適当と認められた者は「学校推薦型選抜B」の合格者として入学を許可します。（※出願時に希望した者に限る）

9. 試験場の下見について

試験日前日の15:00～16:30の間に下見ができます。ただし、建物内部への立入りはできません。
※練習室使用申込者に限り、使用時間帯の立入りを許可します。

10. 練習室の使用について ※申込締切 試験日の前々日 12:30まで(必着)

本学試験場にて実技試験を受験する者は、試験日前日及び試験日当日に本学練習室を使用できます。希望者は、『練習室使用申込書』(本学所定の用紙)をFAX又は郵送にて入試・広報課へ提出してください。出願書類に同封しても構いません。出願書類と別に郵送する場合は、封筒の表に『練習室使用申込書在中』と明記のうえ提出してください。また、締切日間際の場合には速達にてお送りください。

【練習室使用時間】

試験日前日	9:00~16:30まで
試験日当日	11:00~12:50まで

※ただし、試験日前日が日曜・祝日の場合は利用できません。

11. 心身に障がいをもつ入学志願者との事前相談

心身に障がいをもつ者で、受験又は修学上特別な配慮を必要とする者は、原則として各入試区分の出願開始1週間前までに入試・広報課へ連絡してください。

出願にあたっては、入試・広報課に必ず相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者などとの面談を行います。

12. その他

今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては選考方法等が一部変更となる場合があります。最新の情報については、本学HPでご確認ください。

実技試験曲目一覧

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。
また、ピアノ課程及びピアノ演奏家課程の受験生は、各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。

ピ ア ノ	
ピアノ課程 ・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・帰国子女入学試験	任意の自由曲1曲を演奏すること。(暗譜) ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
ピアノ課程 ・一般選抜 ・大学入学共通テスト 利用選抜 (前期日程・後期日程)	下記のA又はBより任意の1曲と、C. 自由曲1曲の計2曲を演奏すること。(暗譜) A. 下記練習曲集より任意の1曲 Chopin,Clementi,Cramer-Bül low,Czerny,Moscheles,Moszkowski B. 下記曲集より任意の1曲 Bach インヴェンションとシンフォニア、又は平均律曲集第1巻及び第2巻よりフーガのみ。 C. 自由曲1曲 ソナタ、組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
ピアノ演奏家課程	下記のA B C計4～5曲を演奏すること。(暗譜) A. 下記練習曲集より任意の2曲 Chopin練習曲集op.10, 25より任意の2曲。 ただし、op.10-3,6 op.25-2,7は除く。 B. 下記曲集より任意の1曲 Bach 平均律曲集第1巻、第2巻より任意の1曲。 ただし、第1巻10番BWV.855は除く。 C. 自由曲1～2曲 ソナタ、組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※任意に選んだ楽曲の演奏時間が、曲間を含まずに必ず合計で15分以上となるように選曲し、暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
管 弦 打 楽 器	
管弦打楽器課程	練習曲又は独奏曲より任意の1曲を5分程度以内で演奏すること。 暗譜でなくてよい。 受験上の注意 (注①) 各楽器共、無伴奏で演奏すること。 (注②) 試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 (注③) 各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
管弦打楽器演奏家課程	専攻楽器別課題曲一覧を参照のうえ、演奏すること。 受験上の注意 (注①) 各楽器共、無伴奏で演奏すること。 (注②) 試験曲の楽譜を提出すること。 (注③) 各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。

声 楽																																														
声楽コース ・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・大学入学共通テスト 利用選抜(後期日程) 社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 帰国子女入学試験	自由曲2曲(暗譜) ・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。																																													
声楽コース ・一般選抜 ・大学入学共通テスト 利用選抜(前期日程)	下記のA. 課題曲より1曲と、B. 自由曲1曲の計2曲を演奏すること。(暗譜) A. 課題曲 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">1. Star vicino</td><td style="width: 30%;">(S.Rosa)</td><td style="width: 20%;">A-Dur</td></tr> <tr><td>2. Sento nel core</td><td>(A.Scarlatti)</td><td>f-moll</td></tr> <tr><td>3. Se tu della mia morte</td><td>(A.Scarlatti)</td><td>f-moll</td></tr> <tr><td>4. Caro laccio</td><td>(F.Gasparini)</td><td>Es-Dur</td></tr> <tr><td>5. Lasciar d'amarti</td><td>(F.Gasparini)</td><td>f-moll</td></tr> <tr><td>6. Sebben, crudele</td><td>(A.Caldara)</td><td>d-moll</td></tr> <tr><td>7. Per la gloria d'adorarvi</td><td>(G.B.Bononcini)</td><td>F-Dur</td></tr> <tr><td>8. Vergin, tutto amor</td><td>(F.Durante)</td><td>c-moll</td></tr> <tr><td>9. Nina</td><td>(G.B.Pergolesi)</td><td>e-moll</td></tr> <tr><td>10. Nel cor più non mi sento</td><td>(G.Paisiello)</td><td>F-Dur</td></tr> <tr><td>11. 浜辺の歌</td><td>(成田為三)</td><td>As-Dur</td></tr> <tr><td>12. さくら横ちょう</td><td>(中田喜直)</td><td>b-moll</td></tr> <tr><td>13. 浜千鳥</td><td>(弘田龍太郎)</td><td>Es-Dur</td></tr> <tr><td>14. かやの木山の</td><td>(山田耕筰)</td><td>D-Dur</td></tr> <tr><td>15. 荒城の月</td><td>(滝廉太郎)</td><td>d-moll</td></tr> </table> B. 自由曲 ※自由曲については、上記A. 課題曲の中からの選曲も可とする。 受験上の注意 (注①) 伴奏者は、本学で用意する。 (注②) 伴奏用楽譜については、下記のとおりとする。 ・自由曲の伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 (自由曲を課題曲から選択し、調を変更しない場合は伴奏用楽譜の提出は不要) ・課題曲についても、指定された調以外で歌う場合は、伴奏用楽譜を必ず提出すること。	1. Star vicino	(S.Rosa)	A-Dur	2. Sento nel core	(A.Scarlatti)	f-moll	3. Se tu della mia morte	(A.Scarlatti)	f-moll	4. Caro laccio	(F.Gasparini)	Es-Dur	5. Lasciar d'amarti	(F.Gasparini)	f-moll	6. Sebben, crudele	(A.Caldara)	d-moll	7. Per la gloria d'adorarvi	(G.B.Bononcini)	F-Dur	8. Vergin, tutto amor	(F.Durante)	c-moll	9. Nina	(G.B.Pergolesi)	e-moll	10. Nel cor più non mi sento	(G.Paisiello)	F-Dur	11. 浜辺の歌	(成田為三)	As-Dur	12. さくら横ちょう	(中田喜直)	b-moll	13. 浜千鳥	(弘田龍太郎)	Es-Dur	14. かやの木山の	(山田耕筰)	D-Dur	15. 荒城の月	(滝廉太郎)	d-moll
1. Star vicino	(S.Rosa)	A-Dur																																												
2. Sento nel core	(A.Scarlatti)	f-moll																																												
3. Se tu della mia morte	(A.Scarlatti)	f-moll																																												
4. Caro laccio	(F.Gasparini)	Es-Dur																																												
5. Lasciar d'amarti	(F.Gasparini)	f-moll																																												
6. Sebben, crudele	(A.Caldara)	d-moll																																												
7. Per la gloria d'adorarvi	(G.B.Bononcini)	F-Dur																																												
8. Vergin, tutto amor	(F.Durante)	c-moll																																												
9. Nina	(G.B.Pergolesi)	e-moll																																												
10. Nel cor più non mi sento	(G.Paisiello)	F-Dur																																												
11. 浜辺の歌	(成田為三)	As-Dur																																												
12. さくら横ちょう	(中田喜直)	b-moll																																												
13. 浜千鳥	(弘田龍太郎)	Es-Dur																																												
14. かやの木山の	(山田耕筰)	D-Dur																																												
15. 荒城の月	(滝廉太郎)	d-moll																																												
作 曲																																														
作曲コース	下記の課題A・Bによる出題 (60分) A. モチーフによる作曲 B. 和声(バス課題)																																													

専攻楽器別課題曲一覧

<管弦打楽器演奏家課程> 共通事項

- ※スケールのうち短調は和声的短音階で演奏すること(クラリネット除く)。
速度はモデラート。
- ※暗譜を指定している楽器以外は暗譜でなくてよい。
- ※各楽器共、無伴奏で演奏すること。

フルート

- ①スケール：# b 3つまでの長短両調から任意の調を、長調・短調よりそれぞれ1つの調を選択し、2オクターブで演奏すること
- ②Köhler：「35 Exercises for Flute op.33 vol.1」より2番、4番、13番から任意の1曲
- ③Honegger：「雌山羊の踊り」

オーボエ

- ①スケール：# b 3つまでの長短両調から任意の調を、長調・短調よりそれぞれ1つの調を選択し、1オクターブで演奏すること
- ②Wiedemann：「45 Etüden für Oboe」より9番と12番

クラリネット

- ①スケール：Eichlerの「Scales for Clarinet」より# b 3つまでの長短両調から任意の調を、長調・短調よりそれぞれ1つの調を選択し、演奏すること
- ②Rose：「32 Etudes」11番～16番より任意の2曲
- ③Weber：Concertino op.26

バスクラリネット

- ①スケール：# b 3つまでの長調の中より、任意の調を2つ選択し、1オクターブで演奏すること
- ②任意の曲（練習曲も含む）を1曲

ファゴット

- ①スケール：変ロ長調、ヘ長調、変ホ長調、ト長調、ニ長調、イ長調から任意の調を2つ選択し、2オクターブで演奏すること
- ②Weissenborn：「Bassoon Studies II」（教則本第2巻）より4番、6番、9番、13番から任意の1曲

サクソフォーン

- ①スケール：サクソフォーンのためのトレーニングブック（須川展也編／音楽之友社）p.51～52より、# b 3つまでの長短両調から任意の調を、長調・短調よりそれぞれ1つの調を選択し、演奏すること
- ②Ferling：「Quarante-Huit Études」（48の練習曲）より1番と2番

リコーダー

- ①Brüggen：「5 Etudes voor Vingerveiligheid (Broekmans & von Poppel Amsterdam)」より第1番
- ②Telemann：「無伴奏フルートのための12のファンタジー」より第7番
(アルトリコーダーで短3度高く移調して演奏すること)

トランペット

- ①スケール：ト長調、ト短調の両調を2オクターブで演奏すること
- ②Arban：金管教則本第2巻より
「12の幻想曲とアリア」の第3番（ファンタジーブリランテ）の中からイントロとテーマ

ホルン

- ①スケール：変ロ長調、ハ長調、ニ長調から任意の調を2つ選択し、2オクターブで演奏すること
- ②Mozart：ホルン協奏曲第1番 K.412 より第1楽章（カデンツを除く）

トロンボーン

- ①スケール：#♭3つまでの長短両調から任意の調を、長調・短調よりそれぞれ1つの調を選択し、2オクターブで演奏すること
- ②Rochut：「Melodious Etudes for Trombone Book 1」（C.Fischer版）より第5番
- ③Friedebald Gräfe：ConcertoよりSoloの始まりからThemaの20小節前まで※この楽譜について、入手困難な場合には入試・広報課までお問い合わせください。

バストロンボーン

- ①スケール：#♭3つまでの長調の中より、任意の調を2つ選択し、1オクターブで演奏すること
- ②任意の曲（練習曲も含む）を1曲

ユーフォニアム

- ①スケール：JBCバンドスタディパートブックユーフォニアム（アルソ出版）p.32～33より、#♭3つまでの長短両調から任意の調を、長調・短調よりそれぞれ1つの調を選択し、演奏すること
- ②Kopprasch：「Sixty selected studies for Trombone Book 1」より11番、14番、22番から任意の1曲。繰り返しを除く。
- ③Rochut：「Melodious Etudes for Trombone Book 1」（C.Fischer版）より第15番

チューバ

- ①スケール：#♭3つまでの長調の中より、任意の調を2つ選択し、1オクターブで演奏すること
- ②任意の曲（練習曲も含む）を1曲

ヴァイオリン

- ①スケール：下記A・Bについて、任意の調性を選択し、演奏すること
A. Carl Flesch「Scale System」より、第5番の冒頭12小節
B. 音階教本（小野アンナ著 音楽之友社）より、3度とオクターヴ
(
・A, Bともにスラーはなし。
・全てレガートとする。
・指使いは自由。
)
- ②ロマン派以降の任意の協奏曲より第1楽章（カデンツを除く）

ヴィオラ

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツを除く）

チェロ

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツを除く）

コントラバス

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツを除く）

ギター（暗譜）

- ①Sor：「Etudes op.35」より第13番
- ②任意の曲（練習曲も含む）を1曲

ハープ（暗譜、繰り返しなし）

- ①Naderman：「7つのソナタ」より任意の1曲（全楽章）
- ②任意の独奏曲1曲

打楽器（暗譜、次のA・Bいずれかを選択）

A. 小太鼓

- ①練習曲又は独奏曲より任意の1曲
- ②Goldenberg：「Modern School for Snare Drum」（Chappell版）p.46～51から任意の1曲

B. マリンバ

- ①練習曲又は独奏曲より任意の1曲
- ②Goldenberg：「Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone」（Chappell版）p.64～73から任意の1曲

実技試験課題一覧

■ HONORS 特待生入学試験

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲10分程度 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・曲数に制限なし。(ただし、10分程度とする。繰り返しは省略すること) ・各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。 ・すべての楽曲の楽譜のコピーを提出すること。
管弦打楽器	自由曲10分程度 〈暗譜でなくてよい〉	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器共、無伴奏で演奏すること。 ・試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 ・譜面台は本学で用意する。 ・各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲2曲 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。
作曲	A. 作品提出 自作品1曲の楽譜提出 (コピー楽譜可) B. 口頭試問 提出作品に関する試問 (15分程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の形態、楽器編成、所要時間等は自由とする。

■ 編入学試験(第2年次・第3年次共通)

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲(10分以内) 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・曲数に制限なし。(ただし、10分以内とする。繰り返しは省略すること) ・各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。 ・楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
管弦打楽器	自由曲1曲(7分以内) 〈暗譜でなくてよい〉	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器共、無伴奏で演奏すること。 ・試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 ・譜面台は本学で用意する。 ・各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲2曲(10分以内) 〈暗譜〉	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。
作曲	和声 バス課題(60分)	<ul style="list-style-type: none"> ・近親転調を含む16小節程度のバス課題を出題する。

作曲・和声 問題例

I 次の動機の中から一つを選び、12~16小節程度の旋律を作りなさい。
(速度記号, 強弱記号, スラー等も記入のこと。)

1.



2.



3.



II 次のバス課題を四声体で実施しなさい。



「実技試験カード」の記入方法について

共通事項

- ① 実技試験カードは、「ピアノ課程／管弦打楽器課程／声楽コース」・「ピアノ演奏家課程／管弦打楽器演奏家課程」用の2種類ありますので、受験するコース・課程用の本学所定の用紙を用い、記入すること。
※音源提出による「音源審査」の場合でも、同様に必要事項を記入し、音源とともに提出すること。
- ② 演奏順序については、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。記入の際は、実技試験曲目一覧を参照のうえ、記入すること。
- ③ **出願後の志望コース・課程及び実技試験曲目などの変更は一切認めないので、十分注意すること。**

管弦打楽器受験生の留意事項

- ① 実技試験カードの楽器名欄に楽器を記入したうえで、当日やむを得ず楽器を持参できない場合には、借用欄の「要」に○印をつけること。
- ② 譜面台は、本学で準備する。なお、当日楽譜を見て演奏する受験生は楽譜を忘れないように十分注意すること。
- ③ 管弦打楽器演奏家課程の受験生の記入にあたっては、専攻楽器別課題曲一覧のならびを参照のうえ、**スケールのある楽器の受験生については、スケール欄へ演奏する任意の調をそれぞれ記入し、スケール以外の課題曲については、実技試験カードの①②③の各欄にそれぞれ正しく記入すること。**